

第六十五話 令和二年 二月八日

## 【沼津兵学校<六> 在野に生きる】

ご先祖さんが沼津兵学校と縁{ゆかり} あった拙者にとって  
【沼津兵学校】は 語っておかねばならぬ明治維新の一隅である。

前回、政府の中心で活躍した「天朝御雇 {てんちょうおやとい} 」を語った。

在野に目を移す。

私塾を開塾した多くの者がいた。

いま風にいえば大学院生の資業生出身の千種顕信（仏語・数学）、高橋成則（英数）岡敬孝（英数漢）。明治六年開塾した。

翌七年に松山温徳（数学）。八年に西尾正典（英数漢）、大平俊章（数学）。

九年に神津道太郎（数学）、小野沢敬之（英数国漢）。十年に浜田晴高（数学）。十一年に堀江当三（数学）。

元幕臣、福沢諭吉、『学問のすゝめ』は「民の力を強くする」。これを云いたかった。沼津兵学校に幾人もの<福沢諭吉>がいた。

大学の設立、校長として在野の教育に情熱を支えた。

麻布中学校設立の江原素六。

共立女子学校（現・共立女子大）校長 宮川保全。

私立設立に深く関与した者たちがいた。

独逸学協会学校（現・獨協大学）校長→西周。明治女学校→島田三郎・田口卯吉。工手学校（現・工学院大学）→ 石橋絢彦。商法講習所（現・一橋大学）→成瀬隆蔵

資業生でない本業生（大学生）、得業生（高校）は地元に残り 地元民となり私塾を開いた者も多くいた。

静岡県となり静岡、浜松に継ぐ沼津は三大都市となる。沼津兵学校DNAの功績である。

菩提寺の墓石のいくつにも武家とわかる家紋が刻まれている。

倒幕戦争敗者が沼津に住み着き、敗者復活戦に挑んだとき、武門の印を刻んだ。